※施工される方へお願い：必ず本書を御施主様へお渡しください。

2024.10

ADCUBE

壁厚収納［ アドキューブ ］

取扱説明書

必ずお読みください

NANKAI PLYWOOD 南海プライウッド株式会社

本社　〒760-0067　香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1･2チーム	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
東日本営業グループ	北海道･東北営業チーム	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
	中部営業チーム	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
	中四国営業チーム	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
	九州営業チーム	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
特需営業グループ	特需 第1･2チーム	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669

■ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。
間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や人への損傷につながる可能性があります。本書にそわず取り扱いを行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。
■お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容をご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、説明しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害（※1）を負うことが想定されるか、物的損害（※2）の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

（※1）傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ、やけど、感電などをさす。
（※2）物的傷害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

「してはいけない」を示します。

「必ず行なっていただくこと」を示します。

⚠注意

● **製品にのったり、ぶら下がったりしない。**
扉や棚板、パイプにのったり、ぶら下がったりしないでください。破損・落下してケガをするおそれがあります。

● **扉の可動部や隙間には手を入れない。**
手をはさんでケガをするおそれがあります。
特に小さなお子様には充分ご注意ください。

● **扉の開閉は静かに行なう。**
扉の開閉は静かに行なってください。
扉が破損・落下し、ケガをするおそれがあります。

● **耐荷重の目安を必ず守る。**
重量物をのせると、棚板やパイプが変形・破損・落下し、ケガをするおそれがあります。
（裏面「耐荷重の目安値」をご参照ください。）

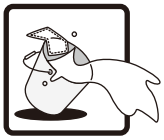
お手入れ

● **日常のお手入れ方法**
乾いた柔らかい布で乾拭きします。

● **汚れがひどい場合**
中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ませ堅く絞って拭き取り、よく乾燥させます。

ご使用上のお願い

● **粘着テープ（養生テープ・セロハンテープ・シール等） は貼らない。**
表面化粧がはがれるおそれがあります。



● **製品に直接水をかけない。**
表面化粧のはがれや反りの原因となります。

● **暖房器具などを近づけない。**
暖房器具などから発生する熱風・熱気が直接当たらないようにしてください。
反り・割れ・変色の原因になります。

● **ボックス内に洗剤類を収納する場合には、必ずキャップを閉める。**
● **ブラシなどの備品を収納する場合は、付着している洗剤類をよく洗浄する。**
洗剤類の液漏れや気化ガスがボックス内を侵し、故障・腐食の原因となります。

● **洗剤・薬品などの付着に注意する。**
洗剤類や、薬品類、石けんなどが製品に付着した場合はすぐに拭き取ってください。
放置すると表面化粧のシミや変色、木口材の変形や割れの原因となります。

濃色柄について

濃色柄は、白い擦り跡のようなものが目立つ可能性がありますが、傷ではありません。 **お手入れ** の内容を守って拭くことで簡単に取り除くことができます。

耐荷重の目安値

下記は耐荷重の目安値であり保証値ではありません。

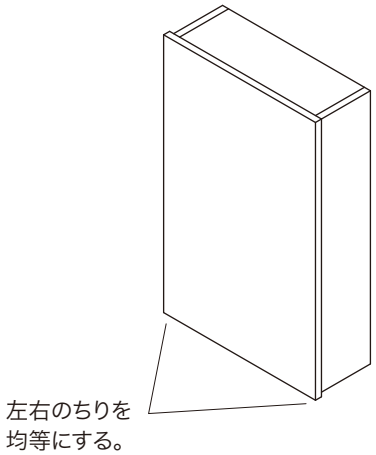
[ボックス1セットあたりの総耐荷重]

ベースボックス				リモコンボックス	
高さ432	高さ592	高さ880	高さ1200	高さ432	高さ592
10kg 5kg 10kg	10kg 5kg 5kg 10kg	10kg 5kg 5kg 5kg 10kg	10kg 5kg 5kg 5kg 5kg 5kg 10kg	10kg	10kg
25kg	30kg	35kg	45kg	10kg	10kg

[パーツ別 耐荷重の目安値]

天板・底板	棚板	パイプ
10kg	5kg	3kg

開戸の調整方法



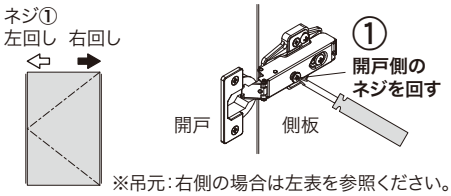
ご注意

開戸の調整後必ず2～3回開閉し、確実に取り付いていることをご確認ください。

開戸の左右の位置を調節（吊元：左側の場合）

①のネジを左右に回して開戸の左右の位置を調整してください。

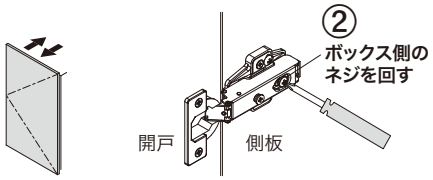
吊元	ネジ①	開戸
左側	右回し ➡	**右**に動く
	左回し ⇨	**左**に動く
右側	右回し ➡	**左**に動く
	左回し ⇨	**右**に動く

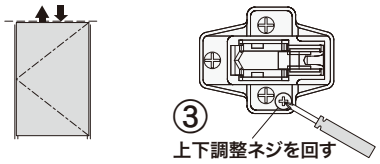


※吊元：右側の場合は左表を参照ください。

開戸とボックスの隙間を調節

②のネジをゆるめ開戸を前後に動かして調節し、適正な位置で締め直して固定してください。



開戸の上下を調節

座金にある③のネジをゆるめ開戸を上下に動かして調節し適正な位置で締め直して固定してください。